

株式会社4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2024年1月9日

(証券コード:8008 東証プライム市場)

2024年2月期第3四半期決算概要

- 収益改善が進み、連結業績は2期連続増収増益。
- ジュエリー事業は、事業構造改革の継続により、減収増益。
- アパレル事業は、デイリーファッション「パレット」の出店効果による売上高拡大、アスティグループの主力取引先との取り組み強化により、増収増益。
- 通期業績予想は、当初計画通り2期連続増収増益の見通し。
- DOE4%以上を目標に掲げ、安定配当を継続。2024年2月期の配当は期末41円50銭、年間83円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2024年2月期第3四半期決算(2023年3月1日から2023年11月30日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況(累計)

(百万円、%)	2023年2月期 第3四半期	2024年2月期 第3四半期	前年同期比
売上高	28,402	28,697	+1.0%
営業利益	1,044	1,337	+28.0%
経常利益	1,328	1,663	+25.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	739	921	+24.5%

1株当たり四半期純利益 42円96銭(前年同期 34円51銭)

期中平均株式数(連結)21,443,218株

のれん償却前営業利益 1,709百万円(前年同期 1,416百万円)

流通業界におきましては、引き続き高額品の消費が好調に推移し、インバウンド需要も拡大を続けました。しかしながら、物価高騰による実質賃金の伸び悩み等、消費者マインドの本格的な回復に向けては不安要素が残りました。

その結果、当第3四半期の売上高は286億97百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は13億37百万円(前年同期比28.0%増)、経常利益は16億63百万円(前年同期比25.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億21百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

本社：東京都品川区上大崎二丁目19番10号
設立：1950年5月
資本金：24億8,652万円
事業内容：ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業
ウェブサイト：<https://yondoshi.co.jp/>
問い合わせ先：(株)4°Cホールディングス 経営企画部
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-4462
e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

■ジュエリー事業

売上高 116億87百万円(前年同期比6.3%減)

営業利益 6億1百万円(前年同期比12.0%増)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、引き続き事業構造改革を推進いたしました。ブライダル店舗の集約により減収となったものの、利益率が改善いたしました。ファッションジュエリーでは女性客の拡大、ECの拡大、顧客化の推進により、既存店売上高が前年を上回りました。特に、ECチャンネルは引き続き好調に推移し、二桁伸長となりました。

店舗の出退店につきましては、4店舗の出店、12店舗の退店、7店舗の改装を実施し、当第3四半期末における店舗数は143店舗となりました。

■アパレル事業

売上高 170億10百万円(前年同期比6.8%増)

営業利益 10億78百万円(前年同期比32.0%増)

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、既存店が前年を上回ったことに加え、出店効果もあり、増収増益となりました。店舗の出退店につきましては、10店舗の出店、3店舗の退店を実施し、当第3四半期末における店舗数は100店舗となりました。

アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・利益ともに伸長いたしました。

2) 通期の連結業績見通し

(百万円、%)	2023年2月期 (実績)	2024年2月期 (予想)	前期比
売上高	39,508	40,000	+1.2%
営業利益	1,979	2,100	+6.1%
経常利益	2,342	2,500	+6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,149	1,300	+13.1%

1株当たり予想当期純利益(通期)60円63銭

期中平均株式数(連結)21,443,218株

のれん償却前1株当たり予想当期純利益(通期)83円78銭

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月14日に公表した値から変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期の配当

年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期	—	41.50	—	41.50	83.00
当 期	—	41.50	—		
当 期 (予想)				41.50	83.00

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、利益配分に関する基本方針として安定的・継続的な配当と、機動的な自己株式の取得を実施すること等による利益還元の水準向上を掲げています。また、株主還元を測る重要な指標として DOE4%以上を目標に設定し、将来における1株当たり年間配当100円の達成を目指しております。

上記方針に基づき、2024年2月期配当については、中間・期末ともに41円50銭、年間83円、DOE4.7%を予想しております。

以上